

**第2期東郷町人口ビジョン・
まち・ひと・しごと創生総合戦略
－令和2年度進捗状況－**

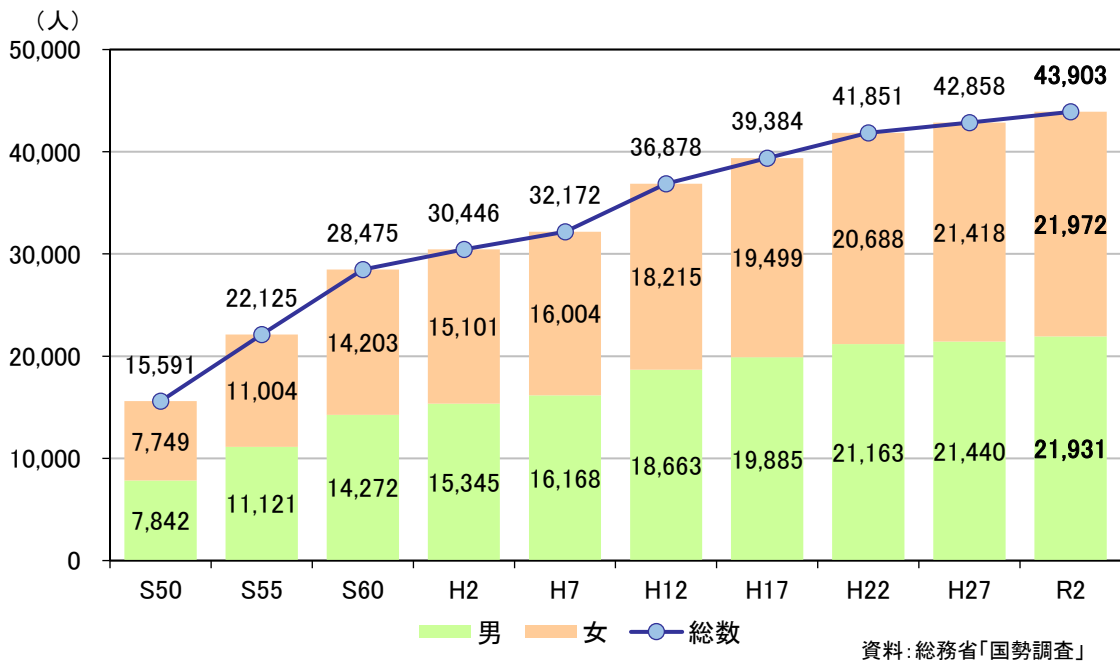
令和4年1月

東郷町

1 本町の人口の動向

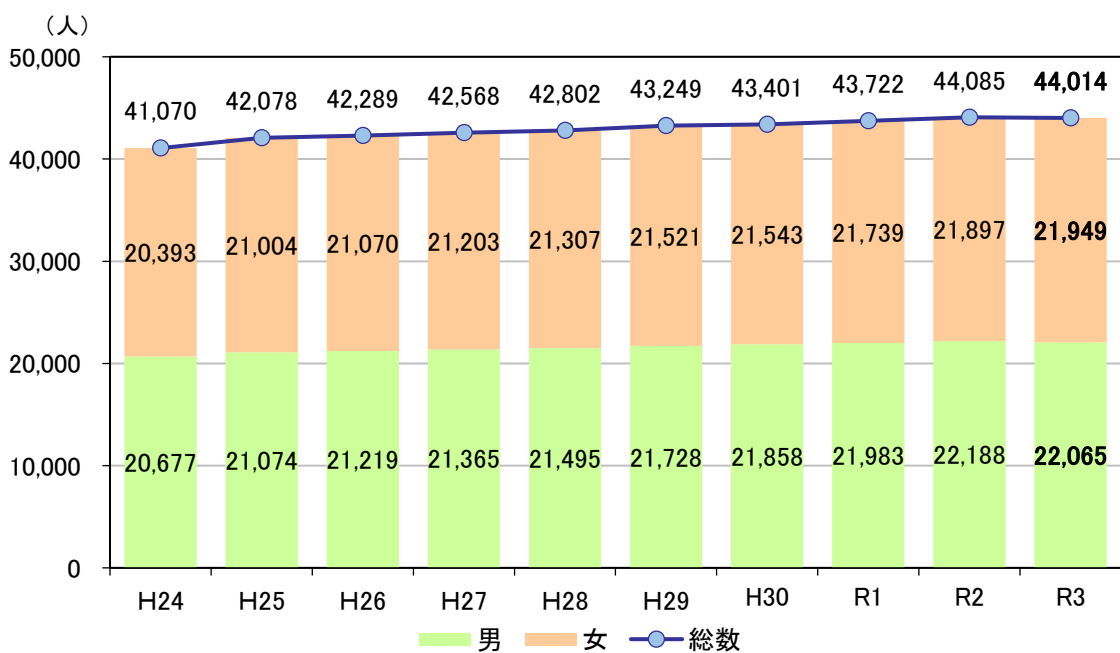
(1) 総人口の推移 (国勢調査)

本町の総人口は、昭和50年以降増加し続け、令和2年では43,903人となっています。また、男女の比率もほぼ半々となっています。



(2) 直近10年間の推移 (住民基本台帳)

令和3年は男性が減少したことにより総人口も減少しました。直近10年間で総人口は2,944人増加しています。

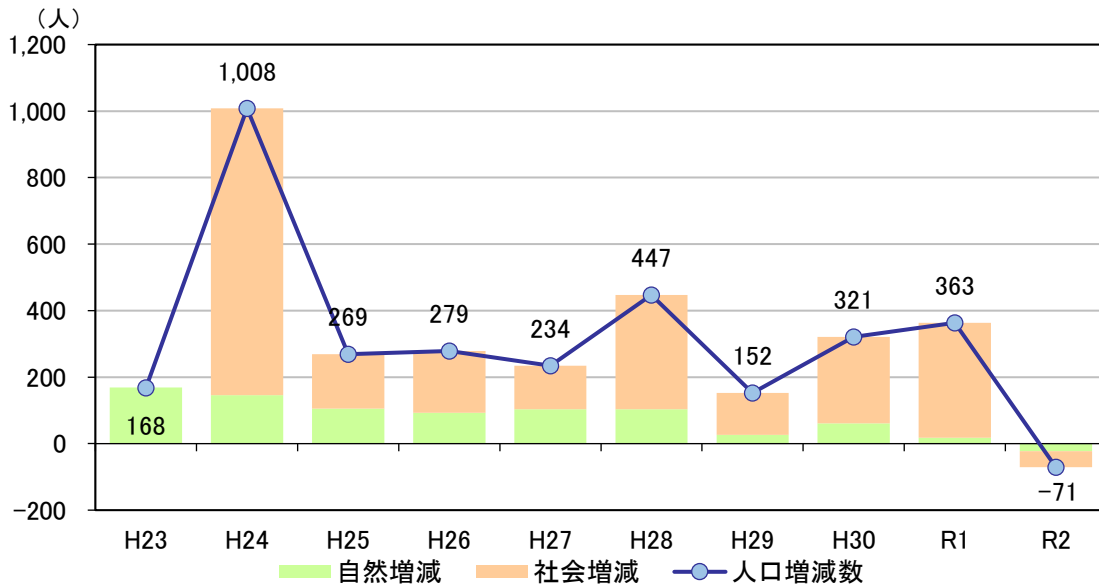


※各年1月1日現在。H25年以前は3月31日現在
 ※H25年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

2 人口動態の状況

(1) 人口増減の状況

人口増減数は社会的・経済的要因によって各年増減しており、直近10年を通してみると、人口増が続いていましたが、令和2年は人口減となりました。



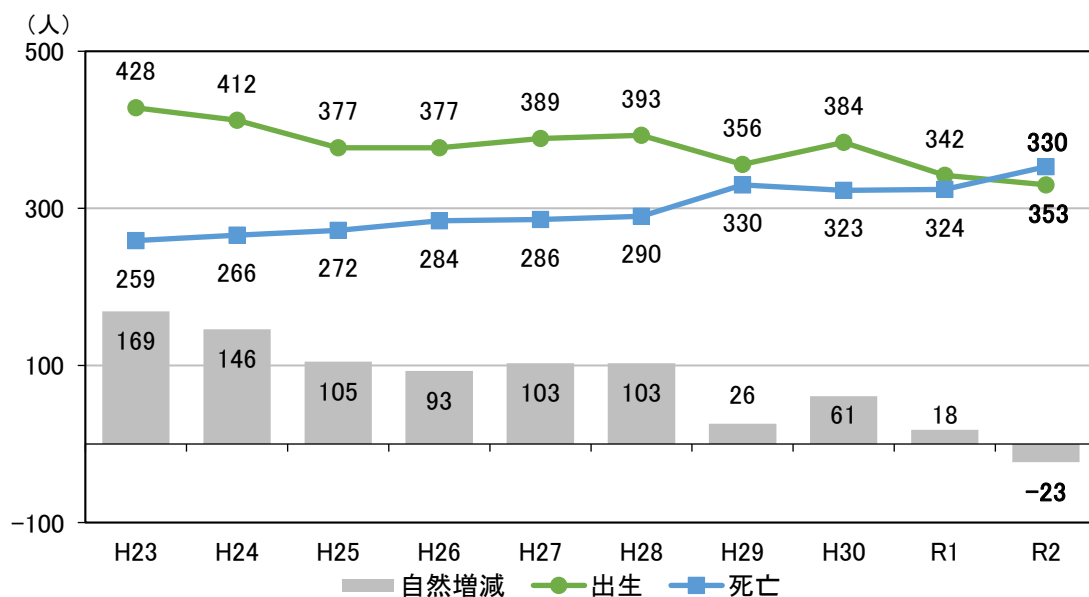
※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数

資料：総務省「人口動態(市町村別)」

※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

(2) 自然動態の推移

本町は一貫して出生数が死亡数を上回っておりましたが、令和2年の出生数は330人、死亡数は353人で23人の自然減となっています。



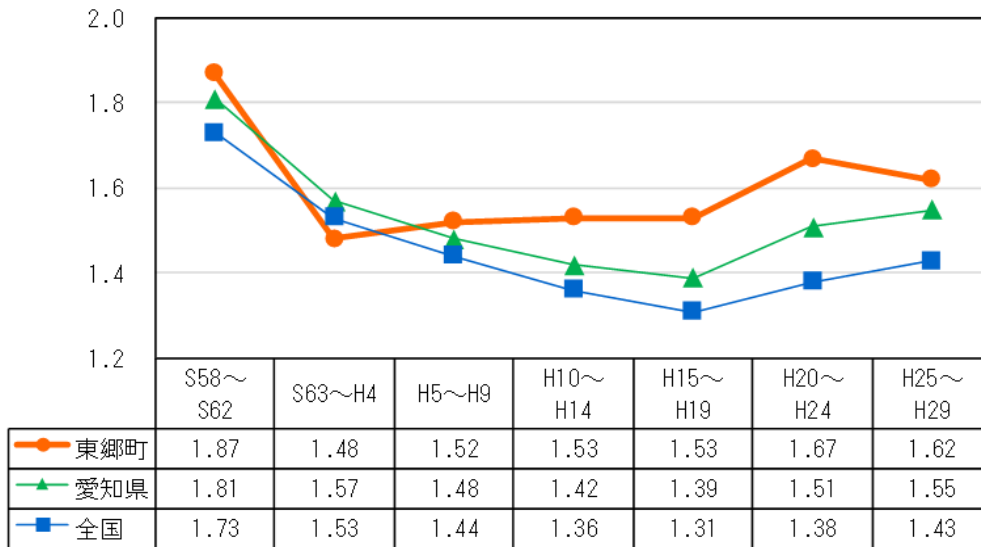
※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数

資料：総務省「人口動態(市町村別)」

※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

(3) 合計特殊出生率の推移

合計特殊出生率※は平成5～9年以降、愛知県及び全国を上回っています。
 前回（平成20年から平成24年まで）より0.05ポイント減少しています。

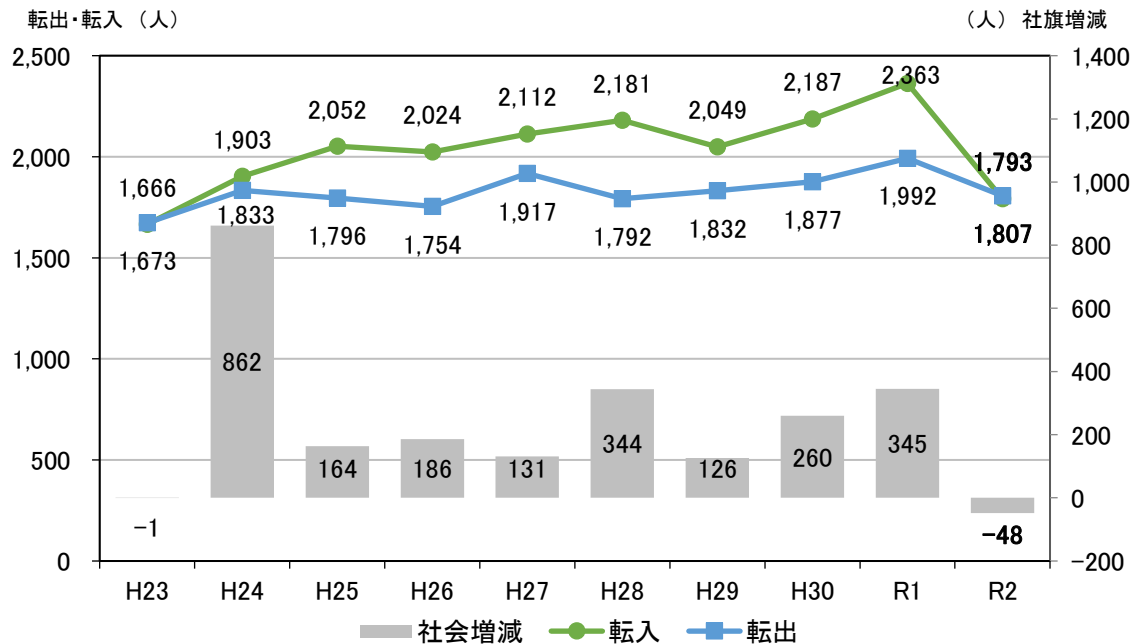


※15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計した指標であり、1人の女性が一生の間に産む平均の子どもの人数を表わしたものです。

資料：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」

(4) 社会動態の推移

令和2年の転入者数は1,793人、転出者数は1,807人となっています。
 平成24年以降、社会増が続いていましたが、平成23年以来の社会減となりました。



※各年の変動数。H24年以前は年度間移動数

資料：総務省「人口動態(市町村別)」

※H24年以降は住民基本台帳の外国人住民を含む。

※社会増減にはその他の移動を含む。

3 住宅地平均価格の比較

(1) 東郷町と近隣市の住宅地平均価格の比較

令和3年(2021年)地価公示では、東郷町の住宅地の平均地価は100,800円/㎡と、愛知県の住宅地の平均地価113,000円/㎡を下回っています。

また、近隣市と比較すると、東郷町の住宅地の平均地価は瀬戸市、尾張旭市に次いで低くなっています。

(単位:円/㎡)

	平成30年 (2018年)	平成31年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	伸び率 (H30→R3)
東郷町	98,400	100,600	102,100	100,800	102.4%
愛知県	108,400	111,600	113,900	113,000	104.2%
名古屋市	175,000	183,100	188,700	187,300	107.0%
瀬戸市	55,600	57,000	57,500	56,700	102.0%
尾張旭市	97,000	100,100	100,700	99,900	103.0%
豊明市	108,700	108,000	110,200	109,000	100.3%
日進市	124,400	132,500	134,300	132,300	106.4%
みよし市	111,900	114,200	116,100	114,400	102.2%
長久手市	143,500	149,000	152,500	150,000	104.5%

※伸び率は令和3年の値を平成30年の値で除して算出。

資料:愛知県「地価公示 市区町村別・用途別標準地数、平均価格、平均変動率」住宅地平均地価額

基本目標別進捗状況

1 総合戦略の位置付け

■第6次東郷町総合計画と人口ビジョン・総合戦略との関連イメージ



2 基本目標と施策

「人口ビジョン」で定める本町の将来展望の実現に向けて、「まち」「ひと」「しごと」の3つの視点を踏まえて、「総合戦略」の推進に向けた4つの基本目標を掲げます。その基本目標に「数値目標」を設定し、その実現のための具体的な施策を提示します。さらに、取組の進行管理として、施策ごとに「重要業績評価指標（KPI）」を設定します。

なお、基本目標に対する数値目標及び施策に対する重要業績評価指標（KPI）の現状値は、特に記載のない限り、平成30年度（2018年度）時点の値とし、実績値は、令和元年度（2019年度）時点の数値、目標値は、令和6年度（2024年度）時点の数値とします。（ただし、「町民の割合」といった指標については、目標年次に一番近い住民意向調査等の数値とします。）

【戦略の推進体系】

人口ビジョンで定める将来展望の実現

視点	基本目標	施策
まち・ひと・しごと	1 しごとをつくり、安心して働けるようにする	(1) 町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める (2) 創業支援体制を構築する (3) 地産地消による農業の活性化を目指す (4) 全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する
	2 新しいひとの流れをつくる	(1) 魅力あるまちの中心核をつくる (2) まちの魅力の発信と交流・定住を促進する (3) ふるさと納税を活用して地域活性化を図る
	3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 妊娠・出産を支援する (2) 安心して子育てができる環境をつくる (3) ワーク・ライフ・バランスを推進する
	4 安心して暮らせる魅力的な地域をつくる	(1) 公共交通の基盤整備・機能強化を進める (2) 郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む (3) 地域の安全・安心を強化する (4) 産官学等の連携を強化する (5) 誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

基本目標1

しごとをつくり、安心して働けるようにする



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
町内従業者数 ^{※1} (東郷町内の事業所で働く人の数)	12,704人	—	—	14,700人	—
東郷町内で働く町民の数 ^{※2}	6,082人	—	—	6,300人	—

※1 経済センサス (現状値: H28 目標値: R 6 直近)

※2 国勢調査数値 (現状値: H27 目標値: R 7)

具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)

町の産業を活性化し、新たな産業の誘致を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷町企業立地促進条例による奨励措置等により、新たな企業の立地を促進します。 ●新市街地候補ゾーン(工業系、研究開発系)を中心とした土地利用を促進します。
②町内企業の拡張・育成	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模企業等を対象に企業の拡張や人材の育成を支援し、既存産業の強化を図ります。
③高校・大学との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ●高校・大学における人材育成の一環として、協働のまちづくりを推進し、関係人口の創出・拡大につなげます。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
新規誘致企業数(累計)	10社	11社	13社	13社	➡

【令和2年度の主な取組】

- 企業立地促進条例に基づく奨励金を、申請事務の支援等も実施して交付しました。
- 愛知県産業立地ガイドブックに本町の誘致制度などを掲載し積極的に誘致をPRしました。
- 町内企業を訪問し情報収集に努めるとともに、金融機関を訪問しコロナ禍の町内経済状況についてヒアリングを実施しました。

○愛知県緊急事態措置に基づく休業協力要請に協力した飲食店や理美容店に対し、協力金を交付しました。また、町内の消費喚起を図るため、商品券並びに食事券を全町民に配布しました。

【今後の取組】

○引き続き企業立地を促進するほか、町内に工場を新設等する事業者に対し、企業立地に係る奨励金を交付するなど町の産業の活性化、新たな産業の誘致・育成を進めていきます。

○現在の町内企業の拡大を的確に支援できるよう、継続して企業訪問し情報収集に努めます。

創業支援体制を構築する

◆具体的な施策

施策	内容
①新たな産業を担う創業者の育成	●創業者に対する相談・支援体制の強化を図り、創業者の新たなビジネス創出を支援します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
新規創業者数(累計)	37人	55人	64人	70人	

【令和2年度の主な取組】

○創業支援事業計画について、対象者への効果的な支援に資するため、構成団体及び関係機関と連携して計画の更新を行いました。

【今後の取組】

○引き続き創業支援事業計画に基づき、商工会や金融機関などの関係団体と連携しながら創業支援セミナーの開催等を継続的に実施し、創業しやすい環境を整えていきます。

地産地消による農業の活性化を目指す

◆具体的な施策

施策	内容
①担い手及び新規就農者の育成	●新規就農を促進するため、就業の準備や就農に必要な技術・経営力の習得を支援します。 ●農業の活性化を図るための農学校やふるさと農園等の取組を継続し、農業の担い手を育成します。
②特産品の商品化支援	●農産物等の地域資源を活用した、産官学の連携による新たな特産品の開発を支援します。

③地産地消の推進	●農産物の直売や給食等での町産食材の使用、各種行事等を通じた地産地消に対する意識の高揚を図り、地産地消を推進します。
----------	--

◆ K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
認定農業者数 及び認定新規就農者数	7人	13人	8人	10人	↗
商品開発数(累計)	22品	22品	22品	26品	→

【令和2年度の主な取組】

- 禁止された農薬や化学肥料を使わない有機農業を推進するため、有機農業農家へ有機JAS認証取得推進事業補助金を交付しました。
- 農業の担い手が行う土地利用集積に対して助成したほか、担い手に農作業を委託した農業者に委託料の一部を助成しました。
- 就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新規に農業経営者となる青年就農者に対し、補助を行いました。
- 民間企業と連携して開発した東郷町産の米粉を使用したオムレット及びロールケーキを、ふるさと納税返礼品に登録するため調整を行いました。
- 農作物の地産地消を促進し、農業者、商業者及び消費者の相互交流を深めるため、軽トラ市を開催しました。
- 地産地消を推進するため、東郷町産食材を給食で使用したほか、有機野菜を取り入れた給食を提供しました。

【今後の取組】

- 農業の振興及び農業経営の安定を図るため、認定農業者等の担い手への利用権設定を促進し、担い手の経営改善に対する支援を実施していきます。
- 農業の効率化に向け、農地の集積・集約に取り組みます。
- 農作物の付加価値を高める有機農業を推進するため、町ホームページ等で広くPRするとともに、有機農業の推進に向けた各種補助制度について、町内農業者からの声を参考に研究を進めます。
- 引き続き東郷町産食材を使用した商品の開発を支援していきます。
- 食を通じた地域理解や、食文化の継承を図るため、引き続き東郷町産食材を給食に使用していきます。

全世代・全員活躍型のまちづくりを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①全世代・全員の活躍の場づくり	●シルバー人材センターや町民活動団体等と連携し、高齢者や障がいのある方等の就労や社会参加の機会の拡充を図ります。
②高齢者同士や子ども達との交流推進	●高齢者同士や、子どもと高齢者の世代間交流を推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
東郷町シルバー人材センター会員就業率	72.9%	73.3%	69.6%	88.9%	↓
住民参画や協働の主体として町政に関わりたいと思う町民の割合	13.9%	—	—	24.5%	—

【令和2年度の主な取組】

- 長年の職業経験や技能を生かしたいと望む高齢者に働く機会を提供し、地域で活躍するための公益社団法人シルバー人材センターに対して、運営を支援しました。
- 高齢者がボランティア活動を通じて社会参加や地域貢献を行いながら、自らの介護予防・健康増進に積極的に取り組めるよう高齢者ボランティアポイント制度を実施しました。
- 高齢者の閉じこもり予防や社会参加を目指し、社会参加ポイント制度を実施しました。

【今後の主な取組】

- パラリンピックの開催に合わせ、関係各課、障がい者施設及び学校と連携し、東郷町パラリンピック聖火フェスティバルを実施します。
- 絵画教室では、学生に協力を求め、障がいのある人とない人とが交流できるよう工夫するとともに、多くの人が参加できる開催方法について検討します。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止とした保育園のふれあい交流事業（園庭開放やクリスマス会、餅つきなど）は、世代間交流の推進に必要な取組ですので、感染状況に応じて適切な方法で再開を検討します。

基本目標2 新しいひとの流れをつくる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
転入超過数(年間) ^{※1}	310人	371人	-14人	270人	↓
昼夜間人口比率 ^{※2}	79.3	—	—	84.9	—

※ 1 総務省人口動態調査（現状値：H30 目標値：R6）

※ 2 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

魅力あるまちの中心核をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①まちの中心核の形成	<ul style="list-style-type: none"> ●東郷中央土地区画整理事業や道路改良等を進めることにより、新たな中心市街地を形成します。 ●町全体の低炭素化をリードする先導地区としてふさわしい様々な環境施策を導入し、環境にやさしいまちづくり及びコンパクトなまちづくりを推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
便利な魅力のあるまちの中心地がつくられていると感じている町民の割合	47.1%	—	—	64.0%	—

【令和2年度の主な取組】

○町の新たな交通結節点としてのバスターミナルの整備を三井不動産（株）が行うことで、経済的かつ効率的に供用開始することができました。

○東郷中央土地区画整理組合が行う都市計画道路名古屋春木線に係る費用を一部負担しました。

○東郷町エコまちづくり計画を着実に推進するため、進捗状況の確認及び導入メニューの見直しを含めた中間評価を行いました。

【今後の主な取組】

○中間評価の結果に基づき、事業進捗が遅れているメニューについて、その進捗を図るため、庁内及び組合等と連携して推進していきます。

まちの魅力の発信と交流・定住を促進する

◆具体的な施策

施策	内容
①シティプロモーションの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報紙・ホームページの充実やシティプロモーション動画の活用により、本町の魅力を効果的に発信します。 ● SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）やAI等の新技術を活用した情報発信を推進します。
②職場体験等の受入れの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 職業意識形成に資する支援のほか、地元の職場としての魅力を発信するため、地域の将来を担う若者の職場体験等の受入れを積極的に推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
東郷町が住みやすいと感じている町民の割合	66.5%	—	—	73.0%	—
定期的に町のホームページを見ている人の割合	10.3%	—	—	28.0%	—

【令和2年度の主な取組】

○まちの魅力を町内外に発信するため、シティプロモーション向けの動画として「ちょうど級タウン東郷町」をコンセプトに、6本の動画を制作し、地上波テレビ、栄大型街頭ビジョン、ららぽーと愛知東郷、町ホームページ、YouTube、町SNSで配信しました。

○ららぽーと愛知東郷内にまちのプロモーションテナント「LivR TOGO まちの窓口」を開業し、図書館機能、行政サービスの提供、民間企業や大学との連携を通じた町の魅力や取組の発信を行いました。

○東郷町制50周年記念誌を作成し、町内公共施設、学校、飲食店、理美容店等に設置しました。

○結婚や出産などの記念に特別な広報紙を作成し、対象者に配付しました。

【今後の主な取組】

○制作したプロモーション動画を各種SNS、大型商業施設など、波及効果の高い媒体を軸に発信するとともに、町の情報発信スペースである「LivR TOGO まちの窓口」で町の魅力や行政情報を発信します。

○「LivR TOGO まちの窓口」の認知度を上げるため、シティプロモーションに繋がるイベントのほか、SNSやメディアを活用した広告・宣伝を行う手法により来場者を確保します。

ふるさと納税を活用して地域活性化を図る

◆具体的な施策

施策	内容
①東郷ふるさと寄付の返礼品拡充	●町内企業等の協力を得ながら返礼品の拡充を図り、本町への寄付の促進、町の魅力の発信、産業のさらなる振興等を推進します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
東郷ふるさと寄付の返礼品数	38品目	47品目	66品目	拡大	

【令和2年度の主な取組】

- 東郷ふるさと寄付をされた方に、感謝の気持ちを込めてお礼の品を贈呈しました。
- ふるさと納税返礼品への登録等各種連携を図るため、町内企業を訪問しました。
- 新たに返礼品19品目、5事業者を加え、本町の魅力の発信に努めました。

【今後の取組】

- 町内で活躍する事業者及び魅力的な返礼品の登録を推進するとともに、本町の魅力を発信していきます。

基本目標3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
合計特殊出生率	1.50 ^{*1}	1.62	1.58	1.8 ^{*2}	➔
安心して子どもを産み育てられると考える町民の割合	50.0%	—	—	53.0%	—

※ 1 町独自推計（平成 29 年度実績）

※ 2 国、愛知県の人口ビジョン同様に目標年次を令和 12 年（2030 年）とする。

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

妊娠・出産を支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①妊娠・出産の支援	●妊婦健診や不妊治療費の助成、不育症に対する支援、相談体制の充実を図ります。
②青少年を対象とした乳幼児とのふれあいの機会の充実	●園児と中高生の交流等を推進し、青少年が子どもとふれあう機会の充実を図ります。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
初産婦のパパママ教室参加率	43.9%	58.3%	中止	50.0%	➔

【令和2年度の主な取組】

○新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止したパパママ教室を、自宅でも見ることができるよう動画を作成し、YouTubeにて配信を行いました。

○妊娠・出産の支援として妊産婦及び乳幼児を対象とした各種健診を実施しました。

○電話による受診勧奨のほか、家庭訪問や面談により発達確認を行い、健診未受診者への支援を行いました。

○不妊や不育に悩む夫婦に対し、治療に要する費用の一部を助成しました。

○妊産婦の移動負担を軽減するために妊産婦タクシー料金助成事業を実施しました。

【今後の主な取組】

○今後も健やかな妊娠・出産・育児をサポートする事業を実施し、安心して子どもを産み育てられる環境を整備していきます。

安心して子育てができる環境をつくる

◆具体的な施策

施策	内容
①子育て世帯の経済的負担の軽減	●第三子保育料無料化や18歳までの医療費無料化等を継続し、子育て世代の負担軽減を図ります。
②子育て支援の充実	●放課後子ども教室や放課後児童クラブ、相談援助体制の拡充等、多様な子育て支援施策の推進を図ります。
③小中学校における教育内容や教育環境の充実	●グローバルな競争環境や社会の変化に対応できる子どもたちを育むため、小中学校においてICT環境の整備や英語教育の充実等を進めます。 ●給食費の負担軽減や食物アレルギーの有無に関わらず、全ての児童生徒が学校生活を安全・安心に過ごせるよう取り組みます。 ●地産地消食材や有機栽培野菜の使用を拡大するとともに、給食による栄養充足率のさらなる向上に努め、「食の安全・充実」を図ります。
④保育サービスの向上	●病児・病後児保育や一時保育等の充実を図るとともに、保育園の改修を進めます。
⑤子育て支援情報の発信	●広報・ホームページ、子育てガイドブック、子育て支援専用サイトやスマホアプリ等の多様な媒体を通して、子育て支援情報を定期的に発信します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
保育所待機児童数	0人*	0人	0人	0人	➡
子育て支援サービスに満足している町民の割合	30.2%	—	—	37.7%	—

※ 平成31年4月1日現在

【令和2年度の主な取組】

○子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、第三子以降の保育料無料や子どもの医療費自己負担額を18歳まで無料化、未熟児に対する医療費の助成を引き続き実施しました。

○全小学校区で放課後子ども教室（きらきらこども）を実施したほか、共働き家庭の児童が放課後を安全・安心に過ごせるよう放課後児童クラブを6児童館（全小学校区）で実施しました。

○令和3年度から実施する保育園英語活動事業の事業者を公募し、外国人講師を選定しました。

○GIGA スクール構想の実現のため、全小中学校の児童及び生徒に1人1台のタブレットを整備し情報教育を推進しました。

○小中学校に外国人英語指導助手を配置し、英語教育の充実を図りました。

○給食費の定額制を導入し一部を公費負担することで、保護者の負担を軽減しました。

○地産地消食材や有機栽培野菜を給食に使用し、安全で安心かつ、栄養バランスの取れた給食を提供しました。

○子育てアプリで子育て支援センターや児童館、予防接種などの母子保健に関する情報を発信しました。

【今後の主な取組】

○待機児童の解消やニーズに合った保育サービスの充実など、子ども・子育てを取り巻く施策を総合的に推進するとともに、民間のノウハウも活用しながら保育環境の充実を進めていきます。

○児童及び生徒がタブレットを利用し、安全かつ効果的に授業や家庭学習が行えるよう、GIGAスクール推進委員会において、オンライン授業や家庭学習の実施方法を検討します。

ワーク・ライフ・バランスを推進する

◆具体的な施策

施策	内容
①女性の活躍推進	●女性の就労支援とキャリア形成を促進するため、女性の活躍推進に関連するセミナーを開催します。
②ワーク・ライフ・バランスの推進	●町民や事業者に対し、ワーク・ライフ・バランスの推進に係る情報提供と意識啓発を推進します。
③男女共同参画を進める意識づくり	●東郷町男女共同参画プランに基づき、職場・地域・学校・家庭等、社会のあらゆる領域で男女共同参画を推進するための取組を実施します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
女性の活躍推進に関するセミナー参加者数	21人	20人	中止	30人	↘
パパママ教室の男性参加率	37.5%	55.3%	中止	50.0%	↗
女性の就業率(25歳から44歳) ^{※1}	70.3%	—	—	73.1% ^{※2}	—

※1 国勢調査数値（現状値：H27 目標値：R7）をもとに算出

就業率＝（就業者／25歳から44歳の人口）×100で算出（分母から「労働力状態不詳」を除く）

※2 県の値（H27国勢調査数値）

【令和2年度の主な取組】

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い中止したパパママ教室を、自宅でも見ることができるよう動画を作成し、YouTubeにて配信を行いました。
- 男女共同参画推進に係る啓発活動を行いました。
- 男女共同参画の情報を幅広く町民や事業者に発信するため、東郷町男女共同参画情報誌「イーストピア」を発行し、各公共施設への設置及び町ホームページで周知を行いました。

【今後の主な取組】

- 女性の活躍推進や性的少数者を含む多様な性への理解促進などの講座等を開催し、男女共同参画を推進します。

基本目標4

安心して暮らせる魅力的な地域をつくる



数値目標

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
東郷町に住み続けたいと考える町民の割合	81.7%	—	—	85.3%	—
健康寿命の延伸	男性 80.90歳※ 女性 84.55歳※	—	—	延伸	—

※ 平成27年国勢調査数値を基に算出（いきいき東郷21（第2次））

具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）

公共交通の基盤整備・機能強化を進める

◆具体的な施策

施策	内容
①巡回バスの充実と公共交通の利用促進	●東郷町地域公共交通網形成計画に基づき、鉄道、路線バス、巡回バス及びタクシーが相互に補完し合い、住民の生活行動に応じた利用しやすく、合理的かつ効率的な公共交通ネットワークを形成します。
②バスターミナルの整備と新たな交通網形成の推進	●まちの中心にバスターミナルを整備し、公共交通の連携を図り、自家用車がなくても移動しやすいまちを形成します。
③新たなモビリティサービスの活用	●バス・タクシー運行時におけるAIや自動運転技術、様々な移動を1つの移動サービスとして捉えるMa a S ¹ 等の新たなモビリティサービスの活用を検討します。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
じゅんかい君の総合的な満足度	53.3%	—	61.4%	69.0%	➡
バス等の公共交通機関の整備に満足している町民の割合	13.4%	—	—	21.6%	—

¹ M a a S

Mobility as a Service の略称。スマホアプリにより、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせて検索・予約・決済を一括で行うサービス。

【令和2年度の主な取組】

- 町内交流の促進及びまちの活性化を図るため、町内全域をカバーする巡回バスを運行しました。
- 令和3年度からのじゅんかい君路線再編及び東郷・藤田医大バスの運行に向けた準備を行いました。
- 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議するため、地域公共交通会議を開催しました。
- 地域公共交通に関するマスタープランとなる地域公共交通計画を策定しました。
- 広域的な公共交通ネットワークの形成により利便性や効率の向上を図るため、近隣5市町で広域連携による公共交通について意見交換をしました。
- 高齢者等の移動弱者に対する支援として、複数の乗客が乗合で利用できるデマンドタクシーを実証実験として運行しました。

【今後の主な取組】

- 巡回バス利用者にとって、より利便性の高い路線となるようダイヤの一部を改正します。
- デマンドタクシーの実証実験の結果を検証し、新たな制度設計により実証実験を行います。
- 尾三地区等の広域的な公共交通需要について、尾三地区広域公共交通推進会議等を活用しながら、公共交通の広域的な連携・交流を推進していきます。

郷土愛や誇りを持てる地域文化を育む

◆具体的な施策

施策	内容
①地域文化の継承	<ul style="list-style-type: none"> ●伝統行事や祭り、文化財等の保存・活用、各種教室の開催等により、地域文化の継承・振興を図ります。 ●中学生や高校生に対し、「ふるさと教育」を推進することにより、まちに対する愛着と誇りを醸成し、定住促進につなげます。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
地域で共に助け合い、支え合う風土があると考える町民の割合	30.3%	—	—	34.0%	—

【令和2年度の主な取組】

- 東郷音頭を次世代に継承していくため、伝統文化こども教室を開催しました。

【今後の主な取組】

- 本町の歴史を感じてもらおうとともに、郷土に誇り・愛着が持てるよう働きかけます。
- 貴重な文化財を後世に伝承できるよう、文化財の保存・継承に努めていきます。

地域の安全・安心を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①地域防災の推進	●自主防災組織の育成や消防団の充実・強化、風水害や地震災害に対応する総合防災訓練の実施等により、地域の防災力を高め、災害に強いまちを形成します。
②企業との連携強化による防災力の向上	●大規模災害発生時に迅速に応急対策を行えるよう、民間企業や団体等との災害協定の締結を進めます。
③安全・安心なまちづくり	●交通事故や犯罪の軽減のため、交通安全対策や青色パトロールカー巡回等を推進します。 ●防犯対策の強化のため、防犯灯の整備充実やLED化、防犯カメラの設置、地域の見守り体制の充実等を推進します。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
普段から防犯に心がけている町民の割合	65.1%	—	—	74.0%	—
地震や風水害等の災害に備えている町民の割合	39.6%	—	—	46.0%	—

【令和2年度の主な取組】

- 大規模自然災害等が起きても機能不全に陥らないようにするため、地域強靱化計画及び避難所運営マニュアルの策定を行いました。
- 町総合防災訓練を実施したほか、自主防災組織の育成及び防災訓練などの各種活動を支援し、災害用備蓄品を計画的に整備しました。
- 感染症対策資機材を購入し、防災倉庫に備蓄しました。
- 65歳以上の高齢者のみの世帯などに対して、家具の転倒を防止するため、金具の取付を行いました。
- 感震ブレーカーを設置する世帯に対し、購入費用の一部を助成しました。
- 防犯灯の整備、青色パトロールカーによる巡回活動を実施するとともに、地域安心メールを活用して不審者情報の提供を行うなど、地域の安全を支援しました。
- 交通安全教室の開催や各種交通安全キャンペーンを実施しました。
- 高齢者による交通事故の減少を図るため、運転免許証を自主返納した65歳以上の高齢者に交通安全啓発品を贈呈しました。

【今後の主な取組】

- 災害時に備えて、備蓄品の計画的な配置を進めます。
- 災害時の人・物の受入れ体制などを迅速に構築するため、受援計画の策定及び業務継続計画の見直しについて検討します。
- 大規模災害時には欠かせない消防団員の災害対応力の向上に努めていきます。また、町内の事業所に消防団員活動への理解を求めるとともに、町主催の事業等に消防団員を積極的に参加させ、消防団をPRしていきます。
- 効果的な交通安全教育や各種キャンペーンの方法を検討・実施するほか、高齢者運転免許証自主返納支援など、交通安全に対する町民意識の向上を図っていきます。
- ドライブレコーダー普及促進事業及び自転車乗車用ヘルメット着用促進事業の実施を進めます。

産官学等の連携を強化する

◆具体的な施策

施策	内容
①大学等との連携	●誰もが健康で元気に暮らせるよう、産官学等の連携による健康づくり等を支援します。
②自治体間の行政連携	●防災等、近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野において、尾三地区自治体間連携により事業の推進を図ります。

◆KPI

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
大学等と連携して取り組む事業数(累計)	5事業	6事業	12事業	8事業	➔
近隣市と共同で取り組むことが効果的な分野で新たに連携が行われた件数(累計)	9件	9件	9件	拡大	➡

【令和2年度の主な取組】

- ららぽーと愛知東郷内にまちのプロモーションテナント「LivR TOGO まちの窓口」を開業し、民間企業や大学との連携を通じた町の魅力や取組の発信や、図書館機能や行政サービスの提供を行いました。
- 藤田医科大学へのバスの運行を決定しました。
- 尾三地区自治体間連携として、行政の効率化や共通課題の克服のため、様々な分野の連携事業の調査・研究を行い、事業化につなげました。
- 名古屋市近隣市町村と広域連携に関するワーキンググループに参加しました。

【今後の主な取組】

○引き続き行政間の広域的な連携や協働について、研究・検討を進めていきます。

誰もが元気に暮らせる健康づくりを支援する

◆具体的な施策

施策	内容
①健康づくり支援	●町民の健康づくりのため、がん検診・特定健診の実施や、生活習慣病予防・介護予防を推進します。
②運動・スポーツの習慣化支援を通じた健康づくり	●スポーツ分野と医療・介護・福祉分野の連携により、スポーツを通じた健康づくりを支援します。 ●町民レガッタの開催等を通じて、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

◆K P I

指標	現状値	実績値		目標値	状況
		令和元年度	令和2年度		
特定健診受診率	45.4%	47.9%	39.8%	60.0%	↓
胃がん検診受診率	13.7%	13.3%	7.8%	50.0%	↓
乳がん検診受診率	28.1%	12.9%	20.5%	50.0%	↓
成人の週1回以上運動・スポーツをしている町民の割合	39.1%	—	—	60.0%	—

【令和2年度の主な取組】

○がん検診や肝炎ウイルス・結核等の各種検診を実施したほか、地区の健康に関する講座の実施や活動を支援しました。

○既存の住民主体の活動に専門職が出向き地域の教室を開催することで、介護予防の充実を図りました。

○愛知県と本町の協働事業として、あいち健康マイレージ事業を実施し、日ごろから主体的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備や動機付けを行いました。

○幼児期運動指針実践プログラムを基にした運動あそびを町立保育園全園で実施しました。

○スポーツ推進委員と連携を取りながら体力づくり活動の指導及びニュースポーツの普及に努めました。

○コロナ禍において安心して運動ができるように、体力づくりの日における感染対策ガイドラインや各学区でのウォーキングマップを作成しました。




【今後の主な取組】

○がん検診等の受診率向上のため、あらゆる機会をとらえて受診勧奨を行っていくほか、効果的な実施方法や周知方法について研究・検討します。

○いつまでも住みなれた地域で暮らすために、コミュニティセンター等で地区と連携して介護予防教室を実施し、地域のつながりを強めます。

○あいち健康マイレージ事業に沿って各種健康づくりメニューを支援します。

○各スポーツイベントを安心・安全に開催できるよう、スポーツ関係団体と感染症防止対策の情報共有を行い、対人距離の確保等「新しい生活様式」に対応した大会等の実施方法を検討していきます。

状況	判断基準
	目標値達成に向け、向上しているもの
	目標値達成に向け、横ばいであるもの（変動率±0.5%以内）
	目標値達成に向け、低下しているもの

○指標の最新の実績値が把握できないものは、「－」で示しています。

○指標の「状況」は、指標の最新の実績値が現状値（直近数値）に対してどのような状況にあるかを次のとおり示しています。